

# コミュニケーション中原 Communication Nakahara

中原自治会館：横浜市磯子区中原3-6-24 ◇Tel・Fax：(771) 9401

ホームページアドレス：<http://www.nakahara-jitikai.yokohama/>

中原自治会 QRコード→

制作：中原自治会広報部



明けまして  
おめでとう  
ございます



昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により私たちの生活は大きく様変わりし、様々な所で我慢を強いられる状態となりました。自治会活動も年度当初に事業計画を立てましたが、ほとんどできない状態になっています。

現在も、新しくオミクロン株の拡大が懸念され、この原稿を書いている時に「新春獅子舞」の中止の報告がありました。自治会としても感染拡大の状況を考慮しながら活動を行っていますので、今年もよろしくお祈りします。

## ◎ 「非常用トイレ」を自治会会員の全世帯に配布します

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から自治会活動を自粛してきましたので、予算に余裕が生じています。そこで、12月理事会、評議員会でご審議いただき、自治会会員の全世帯に対し「非常用トイレ」を5回配布することにしました。他の自治会ではマスクを配布しているところもありますが、中原自治会としては大地震が近づく中、必ず必要となり、災害備蓄品として買い置きされていないと思われる「非常用トイレ」を全世帯に配布することにしました。

「非常用トイレ」は黒いビニール袋と凝固剤からなり、トイレが使えなくなった時にビニール袋を便器におき、用を足して便を入れて凝固剤で固め、ビニール袋は縛って燃えるゴミに出すことができます。この「非常用トイレ」はレジャーでも使えます。

配布された「非常用トイレ」はトイレの片隅に置いておいていただき、もしもの時に備えてください。みなさん方におかれましては、この機会に防災意識を高めていただくとともに非常用備蓄品の点検をお願いします。なお、さらに必要な場合は、各自で買い足してください。

「非常用トイレ」は2月の配布物と一緒に配布する予定です。数の多い組については配布方法についてご相談ください。



## I. 中原自治会よりの連絡・報告

### 1. 集金日

財務部より

1・2月の集金日は次の通りです。

- (1) 1月23日(日) 10:00~12:00
- (2) 2月20日(日) 10:00~12:00



### 2. 焼き芋大会報告

青少年部より

12月12日(日)、中原公園にて子ども会主催で焼き芋会を開催しました。当日は、磯子消防団第五分団第1班、第2班のみなさんの協力をいただきました。

10時から焼き芋の配布が始まりました。コロナ感染が心配されましたので、配布は一斉ではなく各自の都合の良い時に取りに来ていただきました。

消防団により消防車を出していただきましたので、子どもたちは嬉しがって消防車に乗り込んでいました。写真にある白いテントは昨年購入した物です。

コロナでずっと出来なかった焼き芋会が今年ではできると聞いて楽しみにしていました。

当日もらった焼き芋はあまくてしっとりしていてとても幸せな気持ちになりました。

用意してくれたみなさんありがとうございました。

杉田小学校4年 国本葵衣



コロナでいろいろなことが中止になっているのでひさしぶりのイベントがあつてよかったです。

焼きいもはホクホクしていておいしかったし、おかしもたくさんもらえてうれしかったです。

屏風浦小学校3年 宮杉郁人

当日は100人以上の参加者があり盛況な中、消防団の方々のご協力で事故なくスムーズに進められ、こども達は消防車に乗せていただき楽しい会になりました。焼き芋の受渡しだけでなく、久しぶりに会ったお友達同士おしゃべりしたり、見知らぬ子同士一緒に遊んだりする様子も見られ、子ども会の良さを再確認できた機会でした

中原2丁目 浜班 河野朋枝(子供会役員)

## Ⅱ. かがやきクラブ磯子中原睦和会 令和4年1月 行事予定表

定例会とグラウンドゴルフ、ラジオ体操の予定をお知らせします。

項目	場所	日	時
1 定例会 班長・役員会	中原自治会館	21日（金）	11：00～12：00
2 グラウンドゴルフ	中原公園	毎週火曜日と金曜日	9：00～11：00
3 ラジオ体操	松の内公園	毎朝	6：30～7：00

### 消防団員募集 !!

**磯子区中原にお住まい・勤務・在学されている、あなたの力をお貸しください。**

消防団は普段は自分の職業や学業を持ちながら、平常時には地域の防火・防災の担い手として、また、災害発生時には消火・警戒などの消防活動を行い、地域の防災リーダーとしての役割を担っています。

近年、消防団員数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから将来の担い手となる若い団員の確保に取り組んでいます。今後、市内企業の社員の方や大学生に入団を呼びかけ、消防団の活性化に繋げるとともに地域防災体制の一層の充実を図っていきたいと考えています。



磯子消防団による放水の様子です

#### ○消防団とは

- ・消防団は本来の仕事や学業、家事などをしながら災害や地域防災の活動を行う、非常勤特別職の地方公務員です。
- ・入団資格は磯子区に居住している、又は勤務・在学している、満18歳以上の方で、男性でも女性でも入団できます。
- ・主な活動は普段は地域で自治会町内会等防災指導や訓練を行っています。火災等の災害発生時には消火活動や避難誘導等の活動を行います。
- ・処遇等においては消防団年額報酬、出場報酬、退職報酬が支給されます。
- ・公務災害補償制度、活動服等の貸与があります。

#### ○問合せ先

磯子消防署消防団係 勝俣（カツマタ）・蒲谷（カバヤ）  
電話：045-753-0119

### Ⅲ. 中原のこと その14 ～凧揚げ～

金子善政



今回はお正月ですから、お正月の遊びの一つであった凧揚げの話をしてします。子どもの頃はお正月になると凧揚げに夢中になっていました。凧の形は地域により様々な形のものがありますが、私たちが揚げた凧は奴凧でした。文房具店や駄菓子屋で凧を買って広場で凧揚げを競いました。小学校の校庭でも揚げていました。

凧は上手に上げるにはコツがあります。仲間の中で受け継がれた技術と試行錯誤を繰り返して上手に遠く・高く凧を上手に揚げられるようになります。また、当時は電線に引っ掛かった凧もありました。今なら大変なことになっていたことでしょう。

右の写真が奴凧です。これは現代の奴凧ですが、昔の奴凧はもっとシンプルでした。こんな足は無かったように思います。さて、凧を買ってくるとやるのがたくさんあります。

まず尻尾をつけます。新聞紙を細長く切り凧の足に貼り付けます。2本付けたように思います。尻尾は凧を揚げる時に重要な役割があるようで、尾を付けないと凧はくるくる回って揚がりません。

次に糸目を結ぶことです。奴凧には3本の糸目が付いています。両肩と腹です。3本の糸を左右と上下のバランスをとるように結びます。これにより風をうまく受け凧が揚がります。左右のバランスが悪いと凧が回転したり、真直ぐに揚がりません。上下のバランスが悪いと揚力を受けられず揚がらなかったり、天井凧と言って真上に揚がってしまいます。

糸目がしっかり結べたら、最後に糸目の結び目に糸を付けます。タコ糸がありますが、タコ糸では糸が重く糸が垂れ下がり、遠くまで揚がりません。木綿糸が良かったと思います。ただ風が強いと木綿糸では糸が切れてしまいます。

後で物理学を勉強するようになると凧が何故揚がるか理屈がよく解りました。

時代が下ると洋凧が入ってきました。ビニールで出来た凧で尾を付ける必要はありません。糸目もなく、凧に直接糸を付けるだけで簡単に揚げる事が出来ました。奴凧を揚げていた者からすると凧の面白さがなくなりました。



さて、江戸時代以前は現在の凧揚げを「イカ上り」と言っていました。三代将軍家光の時代になると「イカ上り」で喧嘩や事故が多発し、家光は「イカ上り」禁止令を出します。しかし、庶民はこれは「タコ上り」で「イカ上り」ではないと抵抗します。そんなこんながありやがて「凧揚げ」が定着しました。「凧揚げ」は権力に抵抗して江戸っ子が自分たちの遊びを守ってきた心意気の歴史がありました。